

Road to Soul ごはん

昔から愛され続ける 地元ごはんをご紹介

北陸

想像を超えるおいしさ！

昆布とパンの意外なマリアージュ

昆布を細かくしてパンに練り込んだ「昆布パン」は、昆布の消費量が全国トップクラスという富山県民の「昆布愛」が詰まった逸品。射水市にある「ナウヤ食舗」の人気商品です。北海道産の昆布と富山県産の米粉を使い、昆布の塩氣とモチモチ食感が絶妙な味わい。軽くトーストするとふんわり感がアップし、昆布の香ばしさが引き立ちます。

金沢おでん

石川県金沢市

昆布パン

富山県射水市



昆布を細かくしてパンに練り込んだ「昆布パン」は、昆布の消費量が全国トップクラスといつても盛った力二面（1月～12月までの時期限定）など。ダンシングが通年で営業しています。

特徴的な具としては、バイ貝や車麿、練り物の「赤巻」、源助だいこん、春箱力などを串羅に差し出している。ちなみに金沢のおでん屋では、刺し身や焼魚など居酒屋メニューも出すところが多くあります。

バイ貝や車麿、赤巻など、

地元ならではのおでん種が魅力



ボリュームたっぷり大満足！
オムライスとトンカツのコラボ

越前市武生地区で親しまれてきたボルガライス。市の洋食店や喫茶店などで味わえます。その歴史や由来は謎に包まれていますが、オムライスの上にトンカツをのせ、各店オリジナルのソースをかけるのが一般的です。デミグラスやトマト、中華風などソースのバリエーションだけでなく、オムライスの具やトマトソースにも各店のこだわりがあり、食べ比べを楽しむこと間違いなし。

ボルガライス

福井県越前市

